

本邦にある不動産又はこれに関する権利の取得に関する報告書

財 務 大 臣 殿
(日本銀行経由)

報告年月日： _____
報告者： _____
氏名又は名称及び
代表者の氏名 _____
国 籍 _____
住所又は所在地 _____
職業又は業種 _____
代理人： _____
氏名又は名称及び
代表者の氏名 _____
住所又は所在地 _____
職業又は業種 _____
責任者の氏名 _____
担当者の氏名 _____
(電話番号) _____

1 取得の内容 (該当分に○)	態 様	イ 購入
		ロ 抵当権設定
		ハ 貸借 (始期： 終期：)
		ニ その他 (具体的に記入すること。)
	取 引 の 相 手 方	イ 居住者
		ロ 非居住者
	目 的	イ 報告者等の居住用
		ロ 報告者が行う非営利目的業務用
		ハ 報告者の事務所用
		ニ その他 (具体的に記入すること。)
2 不動産の内容	所 在 地	
	不 動 産 番 号	
	面 積 (該 当 分 に ○)	イ 土地 (面積 _____ m ²)
		ロ 建物 (延面積 _____ m ²)
ハ その他 (具体的に記入すること。)		
3 取得年月日		
4 取得の対価		

(記入要領)

- 西暦により記入すること。
- 「責任者の氏名」欄には、報告の提出について授権された者の氏名を記入すること。
- 「1 取得の内容」欄において「目的 ニ その他」に該当する場合には、具体的な内容を例にならって記入すること。
(例：事業開発目的、投資目的)
- 「4 取得の対価」欄には実際の取引通貨をもって記入することとし、「1 取得の態様」欄において「ロ 抵当権設定」に該当する場合には抵当権設定により担保される金額を、「ハ 貸借」に該当する場合には一定期間における貸借料及び当該期間をそれぞれ次の例にならってかつこ書すること。
(例：(担保される債権の額 100万米ドル)、(貸借料 100万円/月))

(日本産業規格A4)